

■「商品開発」の経緯

長崎県立清峰高等学校

年度・月	活動内容
平成 27 年度	
4 月	・地域企業連携による「商品開発」授業開始 「商品開発」選択者 5 名
5 月	・連携先企業：堀内組、堀内商事に依頼
6 月	⇒ヒアリング：農業分野の取組、開発商品について ・開発テーマ：「街・人を元気にするブルーベリーを使った補食とは」 ⇒商品コンセプト立案（ターゲット、ベネフィット、シーン） ・情報収集：開発テーマについて
8 月	フィールドワーク→農園見学、工場見学、市場調査→アンケート、インタビュー 文献研究→図書館活用 ⇒商品企画案 ⇄ ピクト図解で発想・表現 ・校内発表会：各自の商品企画案を板書 ⇄ ピクト図解で発表
12 月	・商品企画検討会：商品企画案（2 品目）ピクト図解で発表 ⇒連携先企業等が評価 ⇒SEIHO ブルーベリー米粉パン、SEIHO ブルーベリーはちみつジャム
2 月	・試作品評価会：試作品（2 品目）を製作（生徒） ⇒連携先企業等が評価
平成 28 年度	
4 月	・清峰 SHOP 新体制スタート 「商品開発」選択者 4 名 ・企画商品の試作品を生産委託先に依頼 ⇒馬場長六商店、マザーワート
6 月	・ヒアリング：堀内組（農業分野の取り組み）、堀内商事（開発商品について） ・生産委託先から試作品提示 ブルーベリー米粉パン …マザーワート ブルーベリーはちみつジャム …馬場長六商店
8 月	・ブルーベリー、マンゴー農園見学
10 月	・店舗・工場見学 マザーワートひろた 店舗見学…パンの製造工程 馬場長六商店 工場見学…ジャムの製造工程 * 2 品目の販売計画案を生徒が説明
10 月	・文化祭での開発商品、販売活動
11 月	・よかばい相浦（直売所）店頭にて販売活動 ・県商業教育合同販売実習（島原）

*協力企業様の敬称は省略しています。

■「商品開発」の経緯

長崎県立清峰高等学校



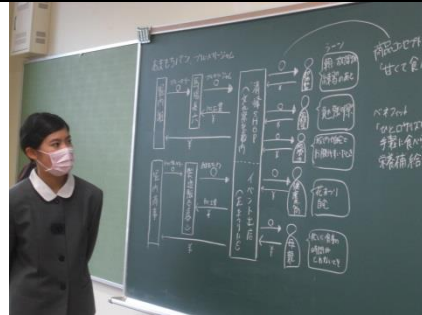
地域連携先企業 ヒアリング



ブルーベリー農園見学



商品コンセプトを立案



商品企画案校内発表会



商品企画検討会（関係企業へ説明）



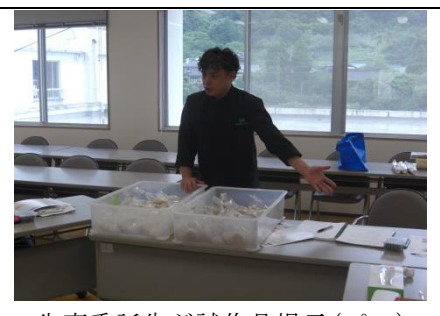
試作品製作



試作品 2 品目完成



試作品評価会（関係企業が評価）



生産委託先が試作品提示（パン）



生産委託先が試作品提示（ジャム）